



岩手県人会ニュース

194

ふるさとだより ⑧ 記事提供 岩手日報新聞社 Iwate News

2016年11月発行

希望郷いわて国体46年ぶり開催 天皇皇后両陛下ご臨席 KOKUTAI É REALIZADO EM IWATE-KEN APÓS 46 ANOS



きょうちょう だんけつ さいてん 協調と団結の祭典

10月1日、秋晴のもと第71回国体
育大会「希望郷いわて国体」が天皇
皇后両陛下をお迎えて、北上市総合陸
上競技場で行われた。

海外県人会 アルゼンチン（1名）、パラグアイのピラポ（2名）、イグ
アス（2名）、ブラジル（6名）、アメリカ（2名）、京都県人会（7名）
が参加、岩手県では46年ぶりの開会式だった。

岩手の俳優村上弘明さん「希望郷から ありがとう」と岩手を紹介し
ながら、様々な開幕前オープニング（生徒達の舞、伝承芸能の虎舞、



さんさ踊り、鹿
おど おにけんばい
踊り、鬼剣舞）
など約200名
が舞う踊りは壮
観で感動した。

選手団4,600
人が入場。炬
火がともされ、
達増県知事の
開会宣言。先

のリオ五輪競歩に参加した高橋英輝選手（42位）とホッケーの小沢
みさきさんが選手宣誓。（因みに高橋選手は今回1万m競歩で大会
新を更新した。県人会ではリオ五輪競歩のテレビ観戦会で応援したが、
国体で成績不振を挽回した）女優の宮本信子さんが大震災当時、小
中学生の作文「つなみ」を朗読。歌手の千昌夫さん、新沼謙治さん
がヒット曲を披露した。

奇しくも47年前父、千田安治が岩手国体に参加。今回息子の私が
参加できた事は感慨深く感激した開会式であった。

2011年3月の大震災から復興中であるが、県民一体となり国体を
成功させた県人魂に敬意を表したい。この思いを在住県人や子弟皆さ
んに広く伝えたいと思っています。

10日間競われた国体の成績は、1位東京、2位岩手県。なお10月
22日から第16回全国障害者スポーツ大会が行われた。

いぎ かいがいけんじんかいこうりゅうかい 意義あった海外県人会交流会



海外岩手県人会 交流会@ホテルルイズ 2016.9.30(金)

9月30日「海外県人会交流会」参加は県から吉田真二国際課
長、小田島高志特命課長、八巻渉担当主査に職員2名。NYの佐々

木まり子さん（幹
事）、川崎滋生氏、

アルゼンチンの猪俣
康夫会長、パラグ
アイ・ピラポの伊澤
まさあき夫妻、イグア
スから伊藤藤雄夫
妻、ブラジルは千
田曠暁会長夫妻、



ひらのみのるしよき たくさきみつるし おいかわひでよしじ ふさいけん
 平野稔書記、田鎖満氏、及川秀義理事夫妻、研
 修中の八重樫亜希カリンさん、賛助会の吉田恭子会
 長さん。司会進行は小田島課長さん。千田会長の首頭
 で乾杯。会食しながら各県人会が会活動を報告した。

NYの佐々木さんは機会がある度、懇親会や訪問者の支援をしている
 と報告。アルゼンチンの猪俣さんは県人会の存続問題を、パラグアイ
 のピラポ、イグアス県人会は若返りを図っている。

各会は一世代移住者減少に伴う世代交代の時期に
 あり、会継承には人材育成が必要で現地生れの子
 弟は岩手県を知らない若者が多い。

県人子弟に祖父母のふるさと岩手を知る機会（短期研修制度）を、
 与えて欲しいとの意見もあり、今後会会の継承をと訴えた。



人的交流 南米関係者集う



10月1日「歓迎」
 環境生活部津軽石昭彦
 部長の招宴が開かれ、海
 外県人会15名、ブラジ
 ル県人会賛助会員の会
 員17名、県職員担当部局

や南米訪問者19名、岩手民謡協会会員14名、岩手相撲連盟員や他
 10名など、総計75名が参加し盛大な歓迎会であった。
 昨年パロピラポ県人会創立55周年式典に知事代理と
 して、南米県人会を訪問された根子忠実部長（当時）



の音頭で
 乾杯し祝
 宴が始
 まった。
 津軽石
 部長が歓
 迎の辞、



各県人会代表が親睦や交流事業を紹介。民謡協会員の特別ショーな
 どあり、南米訪問者など顔なじみも多く、皆さんとの再会や人的交流が

県知事さんが議長さんに、県職員で南米訪問OB会を立ち上げてはと
 車中で話されたいたのを思い出す。是非OB会を設立され、民間訪問
 者等と交流されてはと提唱したいと思えます。

人気上昇中の歌手、福田こうへいさんの新曲「北の出世船」をブラジ
 ルへとCDが届けられた。カラオケ愛好会に新曲を広めてCDを提供。

「大震災被災地視察」10月2日 盛岡から宮古市へ向う途中、



先の集中豪雨
 や台風10号に
 よる被害があっ
 た、岩泉町の
 河川流域は、
 被害を思わせる
 流木が川岸を
 覆っていた。ま
 た国道も一區間

は片側通行の規制があり被害の惨状を伺わせた。

宮古
 市の浄
 土ヶ浜
 で全員
 で記念
 写真に
 おさ
 収まる。



町の自慢で強固と云われたX型堤防で有名な田老町。ガイドの語部
 さんから、港や町が一望できる一部破壊された堤防にあり、津波の



勢いや被害など諸
 説明を受けた。田
 老観光ホテルも3階
 まで鉄骨がむきだし
 になっており、災害
 保存に指定されて
 いた。ホテルの社

長が5階から写した映像は津波の凄まじさを物語っていた。一方海岸線

には14mの巨大防波堤が築かれつつあった。
 三陸鉄道田野駅で乗車前に、研修中の八
 重樫亜希さんが車掌さんの帽子を借り、即車掌
 に早代わり？



震災学習列車はガイドつき
 で徐行や停車しながら、車
 中パネルつきで被災地や復
 興状況など詳細な説明があった。海岸が見える
 鉄橋上に停車し、震災犠牲者に黙祷を捧げ冥
 福を祈った。

大震災や台風10号で被害をうけた閉伊川沿い
 にある鮭孵化場も鉄橋から視察。

朝ドラ（あまちゃん）で撮影された駅「袖が浜
 駅（実際は堀内駅）」で停車しドラマを再想した。



海外岩手県人会 岩手県環境生活部長招宴@ホテル ルイズ 2016.10.1(土)

出来た事は喜ばしい。皆さんとゆっくりお話が出来なく申し訳なく思った。
 集いに県庁関係者が多くが南米を訪れている。前回来伯された達増

70分間の電車旅で久慈駅着。県庁の公式日程が終了。皆さん全員で写真に
 納まりお別れした。お疲れさまでした。

かねがさきちよう こうりゅうかい 金ヶ崎町の交流会

10月3日金ヶ崎駅に



つ ちゆうおうしやうがいきやうい
着くと、中央生涯教育
センター主査及川靖さん
が待っていた。及川さん
とは今回の町訪問につ
て連絡を取りあっていた。
早速国体競技である
ソフトボール会場に案

ない かんせんちゆう
内され、観戦中の
たかはしよいちちゆう
高橋由一町長にご
あいさつ
挨拶。(写真右は
たかはしちゆう ひだり
高橋町長、左は小
の であふくちゆう
野寺副町長)



りやうり しょうかい ひる べんとう きょうどしよく
「料理の紹介」お屋にお弁当と郷土食「ずる
びき(汁もの)」を頂いた。「ずるびき」は昔、
かんこんそうさい じたく おこな さい あま しょうざい
冠婚葬祭を自宅でを行った際に、余った食材を利
用して作られたのが始まりの事。会場で調理し

ていたご夫人に材料を聞くと、コンニャク、ごぼう、
にんじん しいたけ いも とうふ たけ こみ ぼ あおもり
人参、椎茸、さつま芋、豆腐、アブラガ、竹の子に三つ葉など青物を
添えとの事でした。余った食材ですから、全部揃わなくても食材の味
と出汁をしっかりと取れば、美味しい「ずるびき」が出来るのではと思いま
す。まずはご家庭で作ってみられてはと思います。



おにけんばいにわもと さいかい
「鬼剣舞庭元と再会」
syぶがいきやうい
生涯教育センターに、リ
オの東京ジャパンハウスで
お会いた、鬼剣舞の庭
もと すがはらあきら きたか
元・菅原晃さんが、北上
市から当会の平野さんと来
られ、リオでの思い出を語
りあった。

「親戚訪問」初回(1990
年)から金ヶ崎町訪問の折に
は、千田家現存の親戚である
千田茂氏宅(醤油店)を訪
問している。生憎同窓生会とか
ち合って不在でしたが、奥さん
が応対され一時を語りあった。



「歓迎会」会場は、伝統的建造物である「侍屋敷大松沢家」で、
千田夫婦、及川夫妻の歓迎交流会が開かれた。

故・及川安平さんの子息、及川秀義さん(1977年県費留学生、
約30年ぶりの金ヶ崎町訪問)夫妻の親戚(従兄弟の及川光夫さん、
千田良子叔母さんの息子である久耕さん)も加わり、高橋町長招宴に
小野寺副町長や県人会55周年に参加された千葉政幸前副町長、伊
藤雅章議会議長に町関係者、県人会45周年慶祝団員(鹿踊りの及
川憲義さんほか)や訪問者などが参加された。

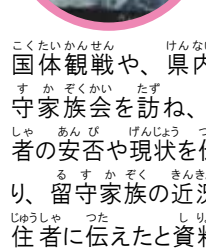
初めに高橋町長が歓迎の挨拶。私共の自己紹介では県人会活動の



げんじやう ふるさと こうりゅう おも つた
現状や、故郷との交流など思いを伝えた。

また参加された方々の自己紹介や南米訪問など、繋がりや思いでな
ど話された。こうして意義ある交流会が行われた。

10月4日、及川主査の案内で金ヶ崎の政治
家「千田正記念館」を視察。氏は参議院議員
を3期、岩手県知事4期を務めた。知事在任中
(1970年)岩手国体開催され、私の父が招か



れ
国体観戦や、県内の留
守家族会を訪ね、移住
者の安否や現状を伝え
り、留守家族の近況を移
住者に伝えたと資料にあ
る。



千田知事は明治32年
(1899)金ヶ崎町三ヶ尻に生まれ、米国オハイオ州、ニューヨーク州、
英国のロンドン大学に留学している。千田知事は1964年に初めて、ブ
ラジルやパラグアイ両国各地を視察、各県人会の激励や交流会に参
加。その後もう一回千田知事は南米を訪問をしている。

視察「金ヶ崎要書歴史館」「要書」とは「城」に準ずる軍事的
支配拠点で、一國一城令により「金ヶ崎城(仙台藩)」は後に「金ヶ



崎館」とな
る。付近一
帯は武家
屋敷が多く
あるとの事。
昔、金ヶ崎
と北上市の
近辺が、南
部藩と仙台
藩の境だっ

たという。
金ヶ崎町工業団地周辺を一巡し、岩手県の訪問を終え新幹線の人
となった。

(注) 記憶を辿って書きましたので一部違いや、順が間違っているか
も知れません。悪しからず。(千田)

- 9月4日 沖縄県人会創立90周年式典に会長夫妻出席
 ★ モジ市在住の佐藤武さんは、8月29日逝去と娘さんから知らせ
 10 定例役員会 議題は各種報告、岩手国体、20回日本まつり
 15 会費納入お願い、岩手県水害見舞い協力の要請を発送
 ★ 事務局留守中、野村なおみさん(会計)が事務局代理を努める
 10月8日 会長夫妻県訪問から帰国
 15 臨時役員会 各種報告など
 19 役員会案内、会費領収書、岩手災害義捐金領収書など発送

- 22 ペレン県人会の山中正二会長来館され親しく懇談
 23 島根県人会60周年式典に会長出席
 27 県連代表者会に会長出席
 11月5日 役員会開催、議題は国体報告、餅つき一忘年会、定期
 総会、役員改選、新年会など
 7 IBC 岩手放送の中村好子さんから「希望郷いわて国体」生中継
 番組のビデオ送付あり
 14 餅搗き、忘年会のお知らせを会員へ発送

県人会館は交流の場

月曜 毎週 岩手カラオケ愛好会
 火曜、水曜 鍼療法 モニカさん M階
 木曜 カラオケダンス 野沢さん、夜 ボクシング。
 金曜 カラオケダンス 中島さん、夜 空手道
 土曜 日本語教室 カミラさん 2部制、
 新体道、岩手太鼓「雷神」練習、催に貸出し
 日曜 毎週ではありませんが、賃貸や県人会催し事で活用
 しております。
 岩手県人会は地の利が良く、事務所やふるさと図書室など利用
 者等の休息や訪問者同士の交流の場として重宝がられております。

ブラジル県人会「賛助会員の会」

2016年度会費納入者名 (敬称略)

- 吉田恭子(盛岡)、清水泰宏・キミ子(盛岡)、藤沢清美(盛岡)、
 真崎良平(滝沢)、松本トミ(山田)、菅原圓雄(盛岡)、
 東根千万億(盛岡)、一戸和(盛岡)、熊谷澄子(盛岡)、齊藤
 好弘(盛岡)、坂本洋(盛岡)、佐々木義久(盛岡)、鈴木直志
 (盛岡)、高橋良平(盛岡)、中村一郎(盛岡)、藤村とも子(盛岡)、
 武藤千賀子(盛岡)、吉田英子(盛岡)、渡辺史朗(盛岡)、
 高橋邦彦(花巻)、高橋典克(花巻)、小田島栄(北上)、
 伊藤栄喜(北上)、佐々木栄洋(遠野)、和賀武耕(奥州市)、

逝去の報 Notas de falecimento

佐藤 武男さん (Takeo Sato) 行年 82 才、イタペチ在、1956
 年 5 月着泊、一関千厩町出身) は、8 月 29 日逝去されたことと娘
 の中村洋子エレナさん (1988 年県費留学生) から、連絡あり。

会費納入者名 (敬称略) Anuidade de 2016

9月 前川 鮎乃助 (Ayunosuke Maekawa), 阿部 安忠 (Yasutada
 Abe), 高橋 栄子 (Eiko Takahashi), 崎田 ひろかず エドワード (Eduardo
 Hirokazu Sakita), 小笠原 カミラ (Camila Rabelo Ogasawara), 安武
 俊樹 (Toshiki Yasutake), 丹野 清人 (賛 kiyoto Tanno), 鈴木 豊昭
 (Toyoaki Suzuta),

10月 田口 晃記 (Kouki Taguti), 高橋 カーロス (Carlos Koji
 Takahashi), 藤沢 晴巳 (Haremi Fujisawa), 岩 渕 克之 (Katsuyuki
 Iwabuchi), 田頭 明子 (Akiko Dendo), 田口 裕久 (Hirohisa Taguchi),
 高橋 清 (Kiyoshi Takahashi),

11月 菅原 正芳 (Masayoshi Sugawara), 谷田 部 昭代 (Akiyo
 Yatabe)

「県人会ニュース」(カラー) や「お知らせ」「県人会ホームペー
 ジ」(カラー) を、「e-mail」でご覧になりませんか。希望者にはメー
 ルで送信しますので、アドレスをお知らせ下さい。
 または、岩手県人会サイト (www.iwate.org.br) でもご覧になれます。

事務所来館者数 (1階利用者は含まれません)

9月 324名、 10月 396名、

図書利用数

9月 484冊 121名、10月 387名

寄贈・寄付 お茶菓子多数、図書多数

- 久慈浩介(二戸)、山澤順三(矢巾)、佐藤節夫(金ケ崎)、
 小関浩喜(金ケ崎)、田口忠(金ケ崎)、千田良子(金ケ崎)、
 桑島治仁(金ケ崎)、沼崎喜一(山田)、菊地光明(山田)、
 清水誠勝(山田)、大和田加代子(陸前高田)、三上牧蔵(盛
 岡)、工藤容子(盛岡)、山本サツ子(盛岡)、藤村秋夫(静岡
 県)、岩船信一(神奈川県)、増田稲子(神奈川県)、杉村延広
 (大阪府)、玉沢徳一郎(盛岡市)、国吉瑞穂ニルソン(東京都)、
 滝川良一(八幡平)、県人会へのご協力ありがとうございます。

台風10号大雨等水害義捐金協力者名 (敬称略)

台風通過に伴う大雨や9月10日の台風10号が、岩泉地方全域、
 宮古市、久慈市地方を直撃し多大な水害があり、急遽義捐金を会
 員や有志の方々に協力をお願いしました。短期間ですが皆様から
 協力を頂き、国体参加を機に一応、岩手日報社を通して25万円
 の協力をさせて頂きました事をご報告させて頂きます。

岩手県赤十字社達増拓
 支部長の受領書を添えます。
 ありがとうございました。
 尚、義捐金受付は11月30
 日までとさせていただきます。



内田 健 R\$ 100, 藤村 光夫 3万円、石井 克己 R\$1,000, 大志田
 良子 R\$ 50、中村 敏雄 R\$ 100, 武田 春夫 R\$100, 田鎖 満 5 万
 円、千田 曠 曉 1 万円、菊地 透 R\$100, 梶原 まさこ R\$50, 山道
 慶大 R\$100, 工藤 五三郎 R\$2,000, 工藤 ときこ R\$1,000, 佐々木
 寛一 R\$100, 工藤 あきら R\$2,000, 高橋 信夫 R\$100, 及川 秀義
 R\$100, 平野 稔 2 万円、菊池 達郎 R\$700, 平尾 宏子 R\$100, 菊
 地 義治 R\$300, 黒沢 フジ R\$300, 黒沢 百合子 R\$500, 伊藤 えみこ
 R\$ 100, 楠本 しげこ R\$ 100, (10月31日まで)

